

令和8年度 調布市立調布中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
一、自ら学び深く考えよう	(確かな学力【知】)
一、身体を鍛えたくましく生きよう	(健やかな体【体】)
一、礼儀正しく思いやりの心をもとう	(豊かな心【徳】)
一、勤労を重んじ進んで奉仕しよう	(社会奉仕)
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像、教員像、生徒像	
調布中を最高の場所に ～互いを認め合い、自分も他者も大切にする学校～	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	人権が大切にされる学校は、生徒が安心して学び、教員が自分らしく働き、保護者が心から子どもを託せる場所になる。すべての人の人権が守られる環境をつくることこそ、私たちの教育の土台である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	主体的・対話的で深い学びを目指し、自他の考えを適切に表現・理解し、言語情報を正確に捉え深める力を育成する。	・ ICT 活用や対話的学習で思考力を高め、表現と理解の機会を充実させる。 ・ 話す・書くの基本的な論理表現を身に付け、伝える力を高める。
社会	多様な立場の人々が共生できる公正な社会の在り方を多角的に考え、持続可能な社会の形成に主体的に関わる資質を育成する。	・ 思考ツールで知識の因果関係を整理し、社会の仕組みを捉える。 ・ 地域や時代の資料を比較し、共通点や違いを対話で学ぶ。 ・ デジタル史料や統計を活用し、社会事象の背景を探究する。
数学	実態把握に基づき基礎・基本の定着を図りつつ、伝え合いや学び合いを通して人間関係を育み、課題解決力を養成する。	・ 振り返りで実態を把握し、指導に生かす。 ・ 協働学習で意見交流を深め、思考力を育む。 ・ 端末活用で個別最適な学びを実現する。
理科	実験や観察を通して現象理解の力を養い、対話や協働により多角的思考と創造性を育成する。	・ 端末で実験記録を残し、個別最適な学びと協働学習につなげる。 ・ 振り返りで学びを深め、事象を関連付け多角的視野を育成する。
音楽	音楽の基礎的知識・技能を身につけ表現力を高めるとともに、自己を振り返り主体的に学ぶ態度を育成する。	・ 前時の振り返りを行い、基礎知識の定着を図る。 ・ 発声や基礎練習を継続し、知識・技能と表現力を高める。
美術	個別最適と協働的な学びを結び付け、主体的に主題へ向き合い、見通しをもって粘り強く制作に取り組む態度を育成する。	・ グループで発想を共有し、他者参照で考えを深める。 ・ 振り返りと見通しを記録し、自己調整力を育成する。
保健体育	運動の得手不得手に関わらず親しみ、主体的取組で積極性や協調性、思考力・判断力を育て、生涯に活用できる知識習得を目指す。	・ 学習カードや ICT で運動を可視化、言語化し、客観的把握を促す。 ・ 男女共修を基本に活動別に学習法や教材を工夫する。 ・ 定期考査で記述問題を設け、活用知識の言語化を促す。
技術・家庭	<u>技術科</u> 安全や人権に配慮し互いの個性を尊重しながら、多様な仲間と協働して創意工夫し、主体的に課題解決に取り組む生徒を育てる。 <u>家庭科</u> 自らの衣食住に関する生活の興味関心を高め、よりよい生活の実現に向けて、工夫し、創造する力を育てる。	<u>技術科</u> ・ 技術の影響を多面的に捉え持続可能な社会に向け評価選択する力を養う ・ 多様な人の願いや課題を捉え、協働して解決する力を養う <u>家庭科</u> ・ ICT 活用で実態に応じた題材を扱い興味関心を高める ・ グループで意見交流し深い学びにつなげる
外国語(英語)	外国語の見方・考え方を働かせ主体的に対話する力を育て、少人数での対話を通して認め合い高め合う姿勢を養う。	・ 課題設定と対話活動を通し主体的に解決する授業を構築する ・ パフォーマンステストで表現力を高め、達成率を 80%とする。 ・ 毎時の振り返りで実態把握し授業改善に生かす指導をする。
道徳科	生徒理解を基盤に人権を尊重し、対話と振り返りを通して多様性を学び、相互理解と道徳的判断力・実践力を育てる。	・ ペア・班対話で安心して意見交流し相互理解を深める。 ・ 学年経営と道徳を結び、安心できる学級づくりを進める。 ・ 授業末の振り返りで学びや考えの変化を言語化する。